



# 管機連だより

(一社) 全国管工機材商業連合会

## スローガン

- 1. 適正利潤の確保
- 1. 取引改善の徹底
- 1. 工・製・販の協調
- 1. 組合認識の高揚
- 1. 環境保全の推進

## 年頭所感

### 【一般社団法人全国管工機材商業連合会】



管機連 大藪会長

令和8年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、午年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、1月に第2次トランプ政権、10月には、日本初の高市女性内閣が発足。日米の政権トップが交代し、国内外の「変化」と「再生」を象徴する一年となりました。

トランプ大統領の追加関税政策は、米・中の関税の応酬をはじめ各国との貿易摩擦や金融市場の混乱を生じ、世界経済の不透明感、景気の減速懸念が広がりました。

国内でも、輸出系製造業を中心に高関税政策の影響が懸念されたものの、7月日米関税合意により過度の警戒感が後退し、足元の景況も高水準で、影響は当初の想定より限定的と見込まれます。

迎えた令和8年は、足元の物価高対策や成長産業分野への積極投資など、高市政権初の総合経済対策に期待感が高まる一方、当業界では、資機材価格や運送費の上昇、慢性的な人手不足などの課題を抱えています。中小企業の活性化にも繋がる経済対策により、午年に相応しい、明るく、活気に満ちた一年となることを期待します。

さて、地震発生から2年が経過した能登では、インフラの復旧が進む一方、生活や地域経済の復興は、なお道半ばです。能登地震の教訓を踏まえ、政府では、地震や多発する自然災害対策を統括する「防災

庁」の設置準備を加速しています。当連合会も、引き続き、地区組合や特別会員企業等による災害協定の全国化を推進して参ります。

また、1月に発生した下水道管破損による道路陥没事故では、上下水道などインフラ老朽化のリスクが露呈しました。老朽管路の更新、耐震化、省施工技術の普及などインフラ更新ニーズへの対応は、喫緊の課題です。

明るい話題もあります。昨年開催された、東京及び大阪の管工機材・設備総合展では、いずれも、過去最大級の出展数と来場者数を記録。省施工、高耐久、環境対応などの商材や現場管理ツールなどが多数展示され、技術革新の熱気に包まれました。

今後は、人口減少等に伴い、住まい方や働き方が変化する中、社会や市場のニーズに合った機器類や商材の提供も重要なテーマになるでしょう。

当管機連は、暮らしと産業のライフラインを支える業界の一翼として、「組織の増強」、「製・工・販の連携」、全管連と連携した「災害協定の推進」、「情報の収集・発信」などの取組みを通じて、業界の繁栄と安心・安全な社会の実現に貢献してまいりたいと存じます。

令和8年も、全国19組合、特別会員45社、賛助会員107社の皆様と共に、事業活動を展開してまいりますので、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

年頭に当たり、管工機材業界の益々の発展と皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。



【経済産業省 製造産業局 素材産業課長】



土屋 博史 様

令和8年の新年を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

世界では、米国の関税措置や、米中欧をはじめ各国による自国優先の大規模な産業政策の展開など、自由主義経済に代わる新たな国際秩序が生まれようとしています。

国内に目を向けると、賃上げや国内投資が約30年ぶりの高水準となり、名目GDPも600兆円の大台を超えるなど、日本経済に明るい兆しが現れています。

他方で、我が国は人口減少や少子高齢化という構造的要因に直面するとともに、世界的な資源価格の変動など、外部要因も重なったインフレ圧力などの多くの懸念も抱えています。

こうした状況の中、現下のマクロ経済環境を踏まえ、米国の関税措置などの国際秩序の変化に対応しつつ、事業者の皆様とともに「強い経済」を実現していくために、供給力の強化や輸出拡大も含めた成長戦略、産業の国際競争力強化の重要性がますます高まっています。

昨年10月に誕生した高市政権において、重要鉱物・部素材を含むマテリアル分野、航空宇宙分野、防衛産業分野など、危機管理投資・成長投資の対象となる戦略分野が示されました。マテリアル分野については、研究開発や設備投資の促進、サプライチェーン強靱化などを視野に、今後具体的な施策の検討を進め、今年夏頃を目途に成長戦略を取りまとめまいります。

こうした投資を官民一体で推し進めることは、経済安全保障の観点からも重要であり、我が国の自律性・不可欠性を高めることにもつながります。

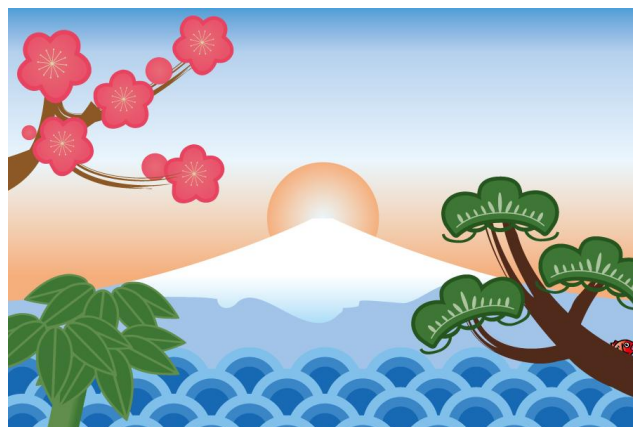
特に素材産業は、自動車や電機電子、医薬品・消費財、建設資材など、我々の身の回りにある多様な製品を供給する基幹産業です。サプライチェーンの要である素材産業において、技術の更なる優位性や重要物資の安定供給を実現することで、国内産業全体のサプライチェーンをより強靱化していく必要があります。経済産業省としても、引き続き産業界と密に連携しながら全力で取り組んでまいります。

また、レアアースや半導体等の重要な物資については、特定の国に過度に依存することのない強靱なサプライチェーンを構築するため、有志国と連携し、新たな供給源の形成を進めてまいります。事業者の皆様におかれましても、供給源の多角化を積極にご検討いただくなど、特定の国に依存しない生産体制を構築していただきますよう、よろしくお願いいたします。

GXの分野につきましては、昨年度、排出量取引制度を義務化する改正GX推進法が成立し、来年度から本格稼働します。昨年来、原単位の調整など、排出量取引制度の具体的な設計を議論してきましたが、来年度はいよいよ実行の段階です。経済産業省としては、その取組を一層進めるため、GX市場の創出に向けた取組、技術開発支援を進めるとともに、GX経済移行債を活用した、排出削減に資する製造プロセス転換や燃料転換の設備投資支援などを引き続き行ってまいります。

最後になりますが、10月13日に閉幕した大阪・関西万博には、累計約2,900万人もの皆様に御来場いただきました。さらに、運営費収支についても最大280億円の黒字が見込まれるなど、大きな成功をおさめることができました。これもひとえに皆様からの多大なる御支援と、ミャクミャクへの温かい御愛顧のおかげです。心より御礼申し上げます。

新たな時代に向け、経済産業省としては、これまでに述べたような様々な施策を総動員し、産業界の皆様とも連携しながら、素材産業の成長のために全力を尽くしていく所存です。この新しい時代を迎えるにあたって、皆様の御健康と御多幸を、そして素材産業の更なる発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。





## 訃報

令和7年12月19日、当会元会長、現監事の小泉久則様をご逝去されました（享年81歳）

東京管工機材商業協同組合の理事長を経て、平成28年6月に6代目の会長に就任され、令和2年6月からは相談役として、令和4年からは監事を務めていただき、当会の発展にご尽力いただきました。平成27年春の叙勲にて旭日双光章を受章されました。心よりお悔やみ申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。



令和6年5月 東京組合総会にて

令和7年7月20日、当会監事の倉地順様をご逝去されました（享年78歳）。

平成15年6月以来、当会の理事を20年、監事を2年務めていただき、当会の発展にご尽力いただきました。令和5年には経済産業大臣賞を受賞されました。心よりお悔やみを申し上げますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

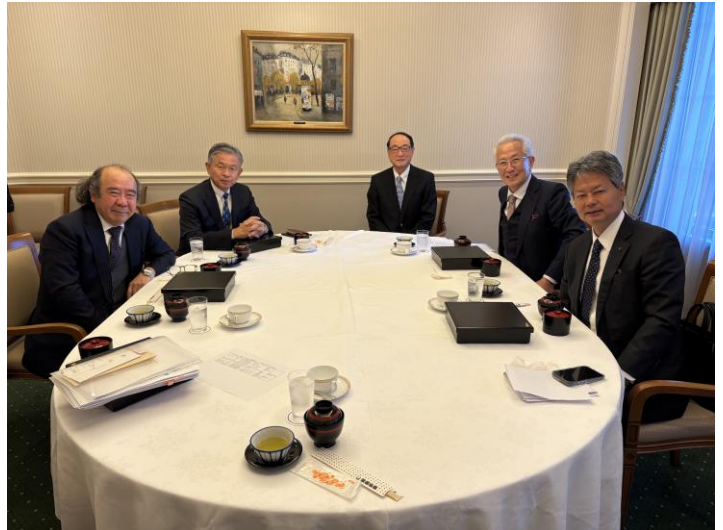


令和5年12月 管機連 60周年記念式典にて

## 管機連

### 【正副会長会議】

令和7年12月12日（月）11時30分より、日本工業倶楽部会館 5階「第2小談話室」にて正副会長会議が開催されました。



正副会長会議

### 【第30回 管工機材の将来を考える研究会】

令和7年12月12日（金）12時30分より、日本工業倶楽部2階「大会堂」において、第27回 管工機材の将来を考える研究会が開催されました。

- 元内閣官房国家安全保障参与 宮川 眞喜雄 様  
（テーマ「台湾有事と存立危機事態」）
- (株)日本政策総研 代表取締役社長 宮脇 淳 様  
（テーマ「日本経済の現状と2026年経済」）



「台湾有事と存立危機事態」：  
講師 宮川 眞喜雄 様



「日本経済の現状と2026年経済」：  
講師 宮脇 淳 様

続いて、橋本名誉会長より、最近の世界や我が国のトピックスやマーケットの状況、業界の課題等についてビデオでの報告がありました。

### 【令和7年度第2回理事会】

令和7年12月12日（金）13時30分より、日本工業倶楽部会館 2階「大会堂」において、令和7年度第2回理事会が開催されました。始めに大藪会長より開会挨拶があり、続いて会長が理事会の議長を務めること、また理事会の定足数を満たしており理事会が有効に成立していることが確認され、議案審議に入りました（理事総数23名のうち来場14名、WEB出席3名の計17名の理事が出席）

### 《議案》

#### 第1号議案

地区組合の代表者変更に伴う理事の改選の件  
下記（1）（2）について臨時社員総会に上程する

- （1）茨城県管工機材商組合の理事交代  
理事候補：砂川秀吉様（茨城組合理事長）  
退任理事：山崎 積様（同 前理事長）
- （2）宮城県管工機材商業協会の会長交代  
理事候補：齋藤 豊様（宮城組合会長）  
退任理事：狩野裕之様（同 前会長）

原案どおり可決承認されました。

#### 第2号議案

功労者に対する感謝状及び記念品の贈呈の件

- （1）功労者 退任理事：山崎 積様（茨城組合）  
同 狩野裕之様（宮城組合）
- （2）感謝状及び記念品（商品券2万円）を贈呈する

原案どおり可決承認されました。

#### 第3号議案

広島管工機材商業組合の正会員加入承認の件

12月9日（火）、当組合から加入申込書を受理。  
当組合の概要等は次の通り。

設立年月日：令和6年7月1日

代表者（会長）：高田祐司氏

（中国鉄管継手株式会社 代表取締役）

組合員数：23社 賛助会員数：37社

原案どおり可決承認されました。

#### 第4号議案

令和8年度の夏休み（ガイドライン）について

13日（木）、14日（金）、15日（土）の3日間とする

原案どおり可決承認されました。



理事会 大藪会長ご挨拶

### 【臨時社員総会】

続いて、令和7年12月12日（金）15時10分より、日本工業倶楽部会館 2階「大会堂」において臨時社員総会が開催されました。

大藪会長が議長に指名され、臨時社員総会が有効に成立していることが確認されたあと、議案審議に入りました（正会員総数18のうち、来場10、WEB出席3、計13で、定足数（正会員の過半数の出席）を満たしていることを確認）。



## 《決議事項》

### 第1号議案

新役員の選任決定の件

理事就任 砂川 秀吉様（茨城組合）

同 齋藤 豊様（宮城組合）

原案どおり可決承認されました。

## 《報告事項》

功労者表彰 山崎 積様（茨城組合）

感謝状と記念品の贈呈が報告されました。



理事就任ご挨拶 砂川 秀吉様（茨城県管工機材商組合 理事長）



功労者表彰 山崎 積様（茨城県管工機材商組合 前理事長）と大藪会長

## 【意見交換会】

令和7年12月12日(金) 15時30分から、  
日本工業倶楽部会館 3階「中ホール」において、  
意見交換会が開催されました。

**本年もよろしくお願いたします**



石原副会長による開会  
のご挨拶（左上）



向山副会長による乾杯  
のご発声（右上）

久門副会長による締め  
のご挨拶（左横）

## 【今後の予定】

令和8年3月12日（木）

令和7年度第3回理事会 \*オンライン会議

第31回管工機材の将来を考える研究会

令和8年6月15日（月）

令和8年度第1回理事会及び第14回定時

社員総会 \*グランドアーク半蔵門

令和8年6月16日（火）

第7回管機連ゴルフ大会 \*よみうり G.C.

令和8年12月7日（月）

令和8年度第2回理事会 \*日本工業倶楽部

## 掲示板

### ○賛助会員

#### 株式会社アカギ

本社移転（住所変更）11月4日より

本社（新住所）：〒104-8251

東京都中央区新川2-28-7

TEL、FAXは変更ありません

#### 株式会社ヘルメチック

本社移転（住所変更）12月8日より

本社（新住所）：〒106-0032

東京都港区六本木1-4-5

（新TEL）：03-6441-0401

（新FAX）：03-6441-0402